



# 国民春闘共闘

2021年度 第3号  
2020年 11月 24日

国民春闘共闘委員会  
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館  
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

年末一時金 第2回集計

**単純平均 2.01 ヲ月 676,679 円、加重 618,102 円**  
**昨年同期比 単純▲23,888 円・加重▲13,145 円 (登録組合比較)**

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は 11 月 13 日、2020 年の年末一時金第2回集計を行い、23 単産・部会から報告が寄せられました。

## <回答引出し状況>

	2020年(全数)	2020年(登録)	19年同期(登録)
回答組合数	523	219	255
うち妥結組合数	111 (21.2%)	49 (22.4%)	60 (23.5%)

## <回答内容> (月数および金額)

集計方法&対象		2020年 (全数)	2020年 (登録)	2019年 (登録) 同期	同期比
単純平均	月数	1.89	2.01	2.05	-0.04
	額(円)	595,796	676,679	700,567	-23,888
加重平均	額(円)	590,549	618,102	631,247	-13,145
	組合員数 (人)	94,556	67,633	65,017	

## <前年実績と比較可能な組合における単純平均額・月数の比較>

		組合数	うち前年実績以上	金額・月数	前年実績	(前年比)
単純平均	額(円)	282	123(43.6%)	605,166	662,335	-57,169
	月数	460	267(58.0%)	1.87	2.00	-0.13

## <非正規の仲間の回答状況>

		非正規・時給制	非正規・月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	額(円)	42,167	266,532	38,844	144,300
	月数	0.863	1.431	1.213	1.280

\* 額または月数のみの報告があるため、双方は連動しません。

## 〈集計結果の概要〉

### 回答引出し・妥結状況

2020年度 年末一時金の第2回集計には、総括表の23単産・部会から報告が寄せられ、523組合が回答を引き出しています。111組合から妥結報告があり、妥結率は12.0%となっています。昨年までの集計方式に合わせた登録組合（総括表別表参照）では、回答引出し組合は219組合で、昨年の255組合から36組合減となっています。

### 全体の回答内容

月数回答のあった523組合での単純平均月数（一組合あたりの平均）は1.89か月となっています。また、金額回答のあった305組合での単純平均額は595,796円となっています。加重平均額（組合員一人あたりの平均）は590,549円となっています。

登録組合ベースでの回答内容（総括表別表参照）は、単純平均月数（217組合）が2.01か月で、前年同期（2019年11月15日・2.05か月）から0.04か月のマイナスとなっています。また、金額でも、676,679円（145組合単純平均）で、前年同期（700,567円）から23,888円のマイナスとなっています。加重平均（組合員1人あたり平均）は618,102円で、前年同期（631,247円）から13,145円のマイナスです。

新型コロナ禍によっても経営状況が悪化していないにもかかわらず、「先行き不透明」などを口実に一時金の抑制を図る悪質な経営がある一方で、地域生協、出版などで昨年を上回る前進回答が出だしています。新型コロナを口実にした年収引き下げを許さず、経営・社会を支える労働者のがんばりにこたえる一時金回答を粘り強く要求することが重要です。

### 前年実績比較可能な組合での回答状況

同一組合での対比が可能な282組合での単純平均額の結果を前年実績と比べると、605,166円で、前年実績を57,169円下回っています。282組合のうち、前年実績を超えた組合は112組合、同額となっている組合は11組合となっています。前年実績以上の回答を引き出した組合の割合は43.6%と半数に達していません。

また、月数で同一組合対比可能な460組合の単純平均月数では、1.87か月で前年実績を0.13か月下回っています。460組合のうち、前年実績を超えた組合は95組合、同月数を維持した組合は168組合となっていて、約6割の組合が前年実績を確保しています。

### パートなど非正規の仲間の一時金

非正規ではたらく仲間の一時金獲得は、別表の5単産102組合から181件の獲得報告が寄せられています。

このうち、時給制労働者の一時金獲得では、JMITU、生協労連、民放労連、映演労連、日本医労連から126件の獲得報告となっています。月数報告のあった90件の単純平均は0.863か月、金額報告のあった49件の単純平均は42,167円となっています。前年比較可能組合でみると、前年実績を月数で0.058か月、金額では9,700円上回る結果となっています。

月給制労働者では、生協労連の 38 件をはじめ、民放労連、映演労連から獲得報告が寄せられています。月数の単純平均は 1.431 か月、金額で 266,532 円となっています。前年比較可能組合では、月数では前年実績を 0.179 か月上回り、額でも 51,073 円上回っています。

時給制の継続雇用者では、生協労連で 7 件の引出しで、前回集計から変化はありません。月数の単純平均で 1.213 か月、金額では 38,844 円となっています。

月給制の継続雇用者では、JMITU、生協労連から 7 件の獲得報告がありました。月数の単純平均で 1.280 か月、金額では 144,300 円となっています。

非正規労働者の一時金では、一部の経営状況が著しく悪化している企業では非正規の一時金の引き下げ提案も行われている一方で、同一労働同一賃金ルールの実施を梃子に改善を実現している組合もあり、全体としての水準も改善しています。

## <参考> 他団体の一時金回答状況

### ●連合の回答集計（第 1 回・11/10）

金額（円）

集計組合		加重平均		単純平均	
組合数	人数（万人）	金額	昨年実績	金額	昨年実績
658 組合	47.0	642,609	688,520	533,482	584,438

月数（ヶ月）

集計組合		加重平均		単純平均	
組合数	人数（万人）	月数	昨年実績	月数	昨年実績
1,017 組合	89.8	2.26	2.31	2.13	2.21